

○新型コロナウイルス蔓延対策のため、今回は書面会議とさせていただきました。

各事業所等へサービス内容および現状について、郵送にて報告させていただいております。

## ：報告および検討内容

### 1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 集計報告

#### ① R2年9月～R3年3月集計

- ・新患→7名
- ・終了者→8名 (軽快、入院、死亡、サービス移行)

☆2月末、利用者数10名

4月末で1人終了予定(認知症がひどく、訪問拒否傾向。ADL自立のため)

☆年度初めの利用者は8名で1か月の総訪問回数は203件。

年度末の利用者は10名で2名の増加であるが総訪問件数は460回と2.2倍となっている。

寝たきり(要介護5)の方が増えたわけではないが、介護度3~4の方が増えたため、1人の訪問回数が増加している要因である。(コールも自身で押せる方)

#### ② 疾患の別

- ・脳梗塞後遺症
- ・腰部脊柱管狭窄症
- ・心房細動
- ・てんかん
- ・アルツハイマー型認知症
- ・大脳皮質基底核変性症
- ・糖尿病
- ・慢性腎不全
- ・肝硬変
- ・胃がん術後(抗がん剤治療中)
- ・狭心症

#### ③ エリア 富岡、相生町、長橋、緑町、花園、若松、最上

### 3. 定期巡回サービス内容報告→定期訪問

- ① 排泄介助(トイレ誘導、おむつ交換、ポータブルトイレ介助および処理)
- ② 軟膏塗布、湿布貼付
- ③ 配膳、下膳、食事促しおよび介助
- ④ 内服介助、確認(薬預かり3名。都度の配薬)
- ⑤ 買い物、調理、洗濯、掃除などの生活支援
- ⑥ モーニングケア、就寝介助
- ⑦ 整容、保清(全身清拭、洗髪、髭剃りなど)
- ⑧ 移乗、移動介助
- ⑨ 更衣、デイサービス準備
- ⑩ 多職種(ケアマネジャー、薬局、病院看護師など)との情報交換や定期的な連絡
- ⑪ 血糖計測やインスリンの声掛け、見守り
- ⑫ 通院介助(自費)

### 4. 随時対応サービス内容報告→コールでの対応

- ① 排便困難
- ② 排尿、排便漏れ
- ③ 悪寒、発熱
- ④ 介助者の体調不良(介助困難)⇒ケアマネジャーとの相談
- ⑤ 環境整備(絨毯がめくれてしまい、修正できない)

- ⑥ 転倒
- ⑦ けいれん発作
- ⑧ 血圧低下

#### 5. 随時訪問サービス内容報告→ヘルパーの予定外訪問

- ① 排泄介助
- ② 清拭、更衣、シーツ交換
- ③ 環境整備

#### 6. 訪問看護緊急対応内容報告→看護師の予定外訪問

- ① 浣腸や用指摘便
- ② 症状に対して医師上申後、内服や座薬での対応
- ③ 転倒部位の確認および指示の処置実施
- ④ 状態観察（打撲程度）
- ⑤ けいれんに対して主治医へ連絡後、救急搬送
- ⑥ 低血圧に対してバイタルサインチェック、下肢挙上での対応で症状緩和

#### 7. 問い合わせ状況

- ・依頼予定 3名あったが、人材不足にて待機依頼（そのうち2名は他サービスにて対応のためキャンセル）  
現在入院中で退院後の連絡待ち。介護申請中（要介護2程度）疾患：リウマチ 独居生活

#### 8. 職員現状

##### \*人員について

- ・7月入職のヘルパーパート職員が体調不良にて12月14日退職。

人材紹介会社への登録、求人雑誌、ハローワークなどへの募集も行ったが、思うような人材が来ず。  
ヘルパー取得に要する費用を事業所で保障という条件で、未資格者を募ったが反応はなし。

（訪問のためのヘルパー不足のため、看護師がヘルパーとして訪問を担って対応が続いていた）

現職員含めて給与見直し改定、祝日勤務の代休制度導入などを行った結果、ハローワークの紹介にて3月16日よりヘルパー職員入職。

現在、早出や遅出含めて4月からの人材は概ね確保。

- \*平日の勤務は概ね利用者様のニーズに答えられている状況で、あと数名の受け入れ態勢はある。

土日祝日は現在スタッフひとりで、早出と遅出を兼ねて出勤し、時間外勤務となっている状況。

（1日の訪問件数→16件 休憩は確保している）

訪問時間もご利用様ので了承を得て、時間調整をお願いしている状況。

今後もパート職員などの募集は継続していく予定。

- ・看護師 変更なし

##### ○業務改善のための工夫として

##### \*スタッフアンケートの実施と対策

職場環境や待遇などに対して無記名でのチェックシートにおけるアンケートを実施

（現在支給のガソリン代金や携帯電話使用料、申請用紙記入のしづらさや貸与している制服への希望など）

その結果での改善策を提示しスタッフへ説明。

今後もこのようなアンケートを適宜実施し、働きやすい職場づくりに尽力していきたい。

\*今後の方向性について

ヘルパー人材の確保ができたため、数人の受け入れも可能な状況となっている。

但し、日祝日の勤務は一人のため、訪問件数によっては1.5人での対応や看護師の対応など、柔軟に配慮していかなければならないと感じている。時間外勤務も負担にならないよう、スタッフとの意見交換の場を設けて、職場環境の改善を行っていく。

9. コロナ禍におけるBCP（業務継続計画）作成について

R2.11.20 作成（12.18 一部改訂）

万が一、当社職員が新型コロナに罹患した場合、業務継続が困難となる事を予測し、利用者様が生活に困らないよう他事業所へのお願いを実施。

（請求業務や契約、訪問看護ありの方には指示書の件も含めて後志振興局、小樽市介護保険課、市内訪問看護ステーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所へお互いに支援体制の構築をお願いしたい旨を連絡）当サービスは市内3か所で実施しているが、他2か所は住宅併設型。加えて系列事業所や病院経営のため、自社での人員補充が可能な経営状態と考える。

結果、協力体制の了承は得られていない現状。

\*出勤時に職員および同居家族の体調についてチェック表への記載

発熱者がある場合の出勤停止（特別休暇取り扱い）

濃厚接触者の把握と対応

\*現時点での対応

万が一職員での発症が確認された場合、接触をしていないスタッフにて訪問業務を対応

全職員が濃厚接触者および感染した場合は休業（保健所の指導に基づき対応）

ケアマネジャーと相談を行い、他サービスの代用など

- ・詳細は全て公表して利用者への説明など迅速に対応していく

10. 役員の方からのご意見など（FAXやメールにて頂いております。）

- ・多くの事業者が人材確保に苦慮されているなか、ヘルパー資格取得費用を事業所が負担し、未資格者を募る体制が取られており、残念ながら今回の応募はなかったとのことですが、非常に有意義な取り組みであると考えます。
- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、感染防止対策及び利用者、職員の皆様の健康管理への取り組みについてのご協力をお願いいたします。
- ・人材確保が思う用意進まない状況もあったかと思いますが、概ね確保されたとのことと安心しました。新型コロナ感染症の影響により業務継続が困難となった場合、特に代替の調整が難しいサービスと考えられますので、小樽市や他の介護サービス事業所の協力が不可欠です。包括としても可能な限り協力させていただきようと考えております。
- ・担当の利用者について、現在は状態が落ち着いているため訪問も1日に1回程度ですが、今後は訪問回数の増加が予想されます。そういった場面でも、訪問看護と訪問介護で連携しサービスに入っただけなので、担当ケアマネも利用者も非常に安心できるものと思われます。慢性的に人材が不足している中（1人の増員は受け入れ幅のことを考えても非常にありがたいです。）、小樽市内の事業所で他に積極的に受け入れていただける定期巡回事業所もないため、訪問看護も含めいつも受け入れに前向きに考えてくれるので感謝しております。
- ・業務改善の工夫な苦労も多いことかと推察します。業務継続計画については、保険者も巻き込んでの対応が必要ではないかと考えます。利用者様の安全な暮らしに心を砕くのはやはり保険者の関りが重要だと思います。